

2025年6月25日

内閣府政策統括官（原子力防災担当） 松下 整 様

規制庁・規制委員会を監視する新潟の会
代表 桑原三恵

柏崎刈羽地域原子力防災協議会での緊急時対応の確認について抗議と要請

6月11日に開催された柏崎刈羽地域原子力防災協議会において、5月2日に取りまとめられた「緊急時対応」が「原災指針に照らして合理的だ」と確認されました。

取りまとめからおおよそ1ヶ月、「緊急時対応」を県民が理解するには短期間すぎる状況での確認はいったい何を意図したものなのでしょうか。6月1日と7日に開催された「国及び県の取組みに関する説明会」では、複合災害等に関する「緊急時対応」について質問があいつぎ、県民が「緊急時対応」に多くの疑問をいただいていることを内閣府担当者は認識したはずですが。にもかかわらず、内閣府は2回目の開催4日後に地域原子力防災協議会を開催し確認をまとめました。以前から協議会開催が計画され、その計画に沿って県の説明会も実施され、決められていたスケジュールに沿って「緊急時対応」が確認されたことは明らかです。

県民の理解より確認を優先させ、県民を軽視した内閣府に強く抗議します。柏崎刈羽地域で内閣府が進めている原子力防災の目的は、柏崎刈羽地域の住民のみならず新潟県民を原子力災害から守ることのほずです。その目的を果たすために、県民の疑問・質問に真摯に向き合ってください。机上の空論のような、実際には機能しがたい緊急時対応を独り歩きさせないためには、住民の声を聴くことが欠かせません。内閣府原子力防災が柏崎刈羽地域を始め新潟県内で本来の任務を遂行すべく、住民最優先の原子力防災の実現に尽力するよう強く要請します。

「緊急時対応」は県民から質問が相次いだように、多くの問題があります。なかでも、複合災害時のPAZ 圏住民の屋内退避は、新潟県が実施したシミュレーションによると、IAEA の基準を超えるケースがあります。住民が重篤な確定的影響を受ける可能性がある緊急時対応について、原子力防災会議を開催する前に、質疑応答の時間を十分確保する設定で説明会を再度開催し、県民の質問に答えるよう強く要請します。

<賛同呼びかけ個人名・団体名>

* 賛同呼びかけ 個人 29人

新潟を未来へつなぐ会 再びの原発事故被害を憂える新潟避難者の会
てばの会 緑・にいがた ピース&グリーンプロジェクト

9条の会・三条 ほしがき家山桜支部 原発ゼロ刈谷田の会
柏崎刈羽原発再稼働おことわりグループ 脱原発をめざす新潟市民フォーラム
ピースサイクル新潟 9とよさかピースの会 新潟保養プロジェクト
生きさせろ！にいがた 未来の生活を考える会
原発を再稼働させない柏崎刈羽の会
柏崎刈羽市民ネットワーク いのち・原発を考える新潟女性の会

<賛同個人名・団体名>

＊賛同個人 82人

柏崎刈羽原発反対地元三団体 パルランチ・日常の安全安心を求める5人組
三条・平和について考える会 原発なくす西区虹の会 原発ゼロ長岡市民ネット
ふるさと守り隊 原発再稼働断固反対！中之島同盟
さようなら柏崎刈羽原発プロジェクト 柏崎刈羽原発再稼働をさせない会・村上
2023・ニューグループ 新潟県教職員労働組合 ワタゲ広場 新潟山桜支部
原発を止める会 原発カフェの会 原発を考える女性の会
原発止める金儀弦の会 原発再稼働反対！山木戸同盟
原発再稼働反対中山同盟 歴史教科書を学ぶ会
原発のない未来を子どもたちに手渡す会 新潟YWCA
NAZEN にいがた 新潟キリスト者平和の会

<合計 111人 42団体>

以 上